

「市長と語る市民協働のまちづくり懇談会」記録（公開用）

日 時：平成 21 年 8 月 6 日（木） 午後 7 時 30 分～午後 9 時 30 分

場 所：西有家総合学習センター

出席者：市長・企画振興部長・団体 14 人（名簿別紙添付）

（企画振興部長）

皆さん、こんばんは。大変暑い中にお集まりいただきありがとうございました。

定刻となりましたので、「市長と語る市民協働のまちづくり懇談会」を開催させていただきます。

（市長）

皆さん、こんばんは。仕事の後で「市民協働のまちづくり懇談会」を開催しましたところ、皆さんにはお疲れのことと思いますが、お集まりいただきありがとうございました。

さて、この懇談会は、南島原市のまちづくりの基本理念である「みんなが主役“市民協働のまちづくり”」を実現していくために、市内で活動している団体やグループの皆さんと自由な意見交換を行い、お互いに手を取り合い協働しながら、誇れるまちづくりを進めるきっかけにしたいという思いから実施するものです。

どうか、皆さん、より良い南島原市実現のために本日は、ざっくばらんに率直なご意見をよろしく願います。

（企画振興部長）

会の紹介と自己紹介を 3 分以内でお願いいたします。

（歓皆の会）

歓皆の会は、南有馬の原城一揆まつりのときに一夜城を建立し、まつりを盛り上げようとするものです。これは原城築城 400 年を記念して平成 8 年から続けております。

一夜城の取り組みのきっかけは、福岡県の嘉穂町で毎年 10 月に一夜城を立てられます。それを見に行き、参考にしました。その後その団体との交流を続けております。

一夜城を立てるに当っては、会員 20 人と町内外から手伝いにきていただき、40 人程度で行っています。また、まつりのときに、餅まきを行います。そのもち米づくりを各小学校に依頼して、田植えから稲刈りと、さらに、町内の婦人団体の方に餅を作っているのをいただいております。

（寄手見遊会）

寄手見遊会は、俵石自然公園で「自然と遊ぼう」と題して、20 年くらいになりますがそうめん流しをやっていきます。

南島原市のホームページを見て、長崎市の戸町学童クラブからそうめん流しをやった

いとん要望があり、子どもが90人、親が40人計130人でのそうめん流しを先週の日曜日に実施しました。竹の樋は私たちが作りましたが、準備から後片付けまで依頼先にやっていただきました。

これまで、そうめんを2000人あまりの人に無料で食べさせていましたが、これを見て、観光事業とそうめんが結びつかないか考えたところであります。

協働については、協力しながら働こうということですから、いろんなことがこれからもできそうな気がしております。

(セミナリヨの里から Merry X'mas in 北有馬実行委員会)

北有馬の歴史を活かしたクリスマスイベントとして、日本で最初に作られた西洋式教育施設であるセミナリヨや天正遣欧使節団の4少年、昨年列福されたペトロ岐部が学んだ地であるなど、日本でも特異性のある歴史を活かしたイベントをやろうと始めました。

有馬小学校のもみの木が4本あって、それにイルミネーションを飾りつけ、若者が企画から実施までを行うなど、ひとつづくりと交流を目的に開催しています。

2~3年前から、よさこいと産業まつりの日野江ひろばの三つのイベントを一緒にして12月に開催しています。よかったら皆さんも参加してください。

(ありえ蔵のまち保存会)

蔵のまち保存会は、5月、10月、2月と年3回「蔵めぐり」イベントを開催し、5年目になります。

造酒屋、味噌屋、素麺屋の五つの蔵を主会場に、それぞれの蔵の建物、特徴を生かした「おもてなし」イベントと、蔵と蔵とを結ぶ「まち歩き」の要素を含んだイベントを行っています。

体験メニューとして、甘酒づくり、味噌づくり、オリジナルラベルづくり、そうめん引き延ばし等を行い、また、各蔵独自に蔵や座敷を利用した音楽祭(コンサート)、展示会、展覧会なども開催しています。

今後、ガイド育成を行い、ガイドメニューを作っていこうと考えています。

(ふつ皆C L E 倶楽部)

約20年前に青年団、無双太鼓の仲間、商工会青年部等を中心に結成しました。

当時は、各町で産業祭が盛んに行われていて、我々は、なかなか他所に見に行くことのできない高齢者や地元の人に対して、芸能の部門で、三味線とか落語とかを呼んで文化的なことをやろうではないかと、四国のごぜ唄の三味線演奏家や尺八の奏者、ギター奏者を呼んで、文化的イベントを行ってきました。

平成3年の普賢岳噴火以来、災害ボランティア的な活動を数年続けてきました。

こんぴらまつりも一時廃れていたが、平成7年に手づくりで復活しました。

現在そのようなことを続けております。無双太鼓のメンバーを中心に、商工会青年部と一緒に活動を続けております。

(夢みこし担ぎ隊：酒井)

私たちの会は、結成して 10 年目を迎えます。加津佐町では、産業まつりとして「夢手づくりふれあいまつり」が商工会主催で開催されていました。町内の農業、漁業、商業の若者が集まり、自らが考え、まつりを創って行こうと集まったのが始まりです。発足当時は 8 名からスタートし、現在、会員が 52 名おります。

この「夢みこし担ぎ隊」は、手づくりで、親の御輿を作りました。さらに、子の御輿を作り、その 2 体の御輿をシンボルとして、やっている会です。

ボランティア的な活動としては、3 年前に海岸に多くの流木が打ち上げられました。我々のメンバーから加津佐は海水浴でお客さんに楽しんでもらう所なので後片付けができないかとの相談があり、翌日に全てを撤去しました。

「夢手づくりふれあいまつり」は実行委員会が主催で、その下に「夢みこし担ぎ隊」があります。市のために動くことができれば幸いです。

(みそ五郎倶楽部)

みそ五郎倶楽部は 22 ~ 23 年前に発足しました。現在の主な活動はみそ五郎まつりで、西有家町の特徴であるそうめんを、ここでしか見られない、ここでしか食べられないことや毎年きていただくためには、お客さんに期待を持たせるようなことをやろうと、そうめんを注連縄を作ったのが最初です。約 3 年前になりますが、島原に巡業に来た、当時、大関であった白鵬にプレゼントをしました。

昨年、9 月・10 月と商工会の依頼で、初盆のそうめん飾りを 16 人に教え、その成果をみそ五郎まつりに展示しました。

(企画振興部長)

本日のテーマであります「私たちにできるまちづくりの提言」として、意見交換をしていただきたいと思います。

(寄手見遊会)

市の行事等には担当になると頑張っていますが、市民としての参加となると少ないように思います。積極的な参加をしなければ、「市民との協働」といっても皆さんが付いてこないのではないかと。職員の前は一市民であるので、市民としてまちづくりに積極的に参加してほしいと思います。

市民として協力したいが「何をすればよいのか」と皆さん思っているのではないのでしょうか。例えば、ボランティア活動を支えてもらうのは、おじいちゃん、おばあちゃんでもよいのです。年齢とか、地域とか関係なく、自分ができることで協力ができることはないか。特に、災害ボランティアでは、前線で活動している人の 3 倍程度それを支える人が必要とされています。

市民一人ひとりが何をできるのかをメニュー方式で登録してもらえれば、いろんな形

で市民が参加しやすいのではないかと思います。

（企画振興部長）

今の提言について、1点目の提言について、各町の状況を聞けば参考になると思いますのでお願いします。

（歓皆の会）

私たちが発足当時のメンバーでやっていますが、市の職員の方も一般市民としての感覚を持ってほしいとのことでありますが、このようなボランティア活動をしている会があれば、市の職員も是非参加をしてほしい。私たち以上にPRの方法とか情報に長けているので、一緒に会を盛り上げてほしいし、そうすれば違った形のまちづくりにつながっていくのではないのでしょうか。

南有馬には若手の後継者がいます。皆さん忙しいのでボランティア活動になかなか参加できない。その人たちを引き込むためにも市の職員に手助けしていただき、みんなが楽しんでやっていることを伝えてほしい。そして、後継者育成につなげていければよいと考えます。

（セミナリヨの里から Merry X'mas in 北有馬実行委員会）

市の職員と市民が対等・平等の立場でまちづくりをやるのではなく、市の職員は意識を高く持って、ボランティア活動とか、地域の伝統行事には率先して出るのが当たり前だと思います。市民と同じレベルの考えでは困る。市の職員でもボランティアで一所懸命にやっている職員もいるので、そのような職員の評価をしっかりとしてほしい。

（ありえ蔵のまち保存会）

市を通じて補助金をいただいて活動をしているが、市の職員と連絡がうまく行かなかったこともありました。

（ふつ皆C L E 倶楽部）

来週開催するサマーフェスタに市の職員にボランティアとして、数名手伝いをしてもらっているが、自ら進んで手伝いを申し出るようになってほしい。また、事務局がばたばたとやっている状況であるので、申請等で市役所でも柔軟に受け入れてほしい。

（夢みこし担ぎ隊）

市役所の職員にも協力してくれる人、しない人もいます。発足当時、一般の会員には役場職員に対して批判する者もいました。その中で担当として一所懸命やっている職員もいました。自分たちがその職員を認めることで、自分たちの輪の中に入ってくるようになりました。

事務局を今まで市役所の職員にお願いしていたが、合併後できないとのことである。全てとまでは言わないが、市役所の職員に手伝っていただきたい。

( 歓皆の会 )

原城一揆まつりの事務局を市役所でやっていたが、今年から民間でやるようになった。市の職員に事務局をしてもらっているときと民間に事務局をさせたときとは、大きく内容が違ってきた。市の職員は今までは流れでやっていて、大変無駄遣いをしてきたと感じた。有償でも優秀な事務局を民間人にしてもらってもよいと思います。

( みそ五郎倶楽部 )

西有家町の長野地区の滝まつりは33年間続いている。これは全くボランティアであり、行政主導でやっているところがそのような不満が出ているように思います。このまつりには市役所の職員もいます。職業は関係なく職務分担をして、50人の体制でやっている。運営費については、市からの少しの補助金と寄附と協賛金でまかなっている。

( 寄手見遊会 )

市の職員は約500人いると聞いているが、その内100人でも手伝ってくれることを望みます。若い職員には旧町の垣根も薄くなることから、積極的に手伝ってほしい。

( 市長 )

皆様のご意見を聞いて苦勞されていることを感じました。市の職員は、積極的に参加してほしい、意識を高く持ってほしいと思うことは当然のことです。

職員の不正を防止することから事務局をそれぞれの団体が持つようにしたと聞いています。また、各団体から「自分たちでは事務局はできない」と苦情として聞いています。私からは、最大限手助けをなさいと職員に言っています。

( 企画振興部長 )

次に「ボランティアメニューの発表」について、皆さんからのお考えをお聞きしたいと思います。

( 歓皆の会 )

ボランティアのメニューは女性の方がたくさん持っていると思います。各町を見て、女性の活動が活発ではないでしょうか。市役所の女性職員の数は男性の1/4にも満たないと思います。日頃から私たちの活動にも協力をいただいている。女性のバイタリティーを活用する意味からも市の職員に女性を採用していただきたい。

( 企画振興部長 )

イベントに特化した意見が出されていますので、今日のテーマであります「協働」について意見をいただきたいと思います。

( 歓皆の会 )

協働とは、一緒に働くというだけではなく、市の持っている備品とか、施設とかを上手に使ってもらうことも協働ではないでしょうか。

（寄手見遊会）

ボランティアのメニュー化をやっているところもあります。それぞれに参加しませんかというやり方ではなく、ボランティアに参加する意思がある人を発掘することも必要と考えます。そうでないと協働はできないと思います。

（みそ五郎倶楽部）

まちおこしグループが集まっているが、このままイベントは延長されるのか。市全体として一つのイベントを考えなければ力が分散していくのではないのでしょうか。

（企画振興部長）

市には基本的な計画に総合計画があり、その後に「南島原市協働のまちづくり推進指針」を本年3月に策定しました。その中で、「指針は策定したけれど指針だけでは動けない。指針に沿って、より具体的な取り組みを行っていく必要がある。そこで、協働のまちづくり行動計画の策定をすることが検討することが必要」と述べられています。行動計画書が策定されれば皆さんにお示ししたいと思います。

（みそ五郎倶楽部）

協働とは、市の職員がボランティアで参加するということですか。

我々がイベントをするときに、市の職員がボランティアとして協力いただき、市で募ってもらえれば助かります。

（企画振興部長）

主体は皆さんであり、イベントの担当部署が企画振興課でありますので、そちらに相談いただきたいと思います。

（歓皆の会）

「協働」という言葉は、市とか県から来る文書しか見ない。一方的な協働が果たして協働といえるのか。私たちの方から行政に協働をお願いしますといったときに対応してくれるかは難しいと思います。

（みそ五郎倶楽部）

「協働」は、市民と職員と一緒にやるのが協働ではないのか。

（市長）

市民と市職員が同じ目線、立場でやるのがボランティアだと考えています。市の職員だけに押し付けるのはおかしいと思います。

( セミナリヨの里から Merry X'mas in 北有馬実行委員会 )

協働のまちづくりは、市民総参加のまちづくりではないのか。

( 寄手見遊会 )

冒頭に述べた、長崎市の戸町学童クラブからそうめん流しの依頼については、どこがやっても同じではないかという考えで引き受けました。そこには、商工観光課と教育委員会の職員もボランティアで手伝ってくれました。また、ここに参加した人もそうめんを茹でて楽しんだ。若干ではあるが、このことが「協働」ではないのかと思います。

( 企画振興部長 )

他の提言があれば説明をお願いします。

( みそ五郎倶楽部 )

南島原市には、核となるキャラクターがいません。合併する前は、西有家のみそ五郎、深江の六兵衛、北有馬のさき丸君があり、それぞれの町のシンボルとなっていました。高岩山に住んでいて、深江から加津佐地区に民話として残っている「みそ五郎」を市のキャラクターとして認知できれば、色々な行事に担ぎ出し、子どもからお年寄りまで親しまれ、みそ五郎ブランド(仮称)として外に向かって物産や観光を発信できると考えています。

市地域づくり連絡協議会(仮称)を発足し、市の活性化を協議する。地区を越えた融合策や地域づくりはないか、各地区のイベントと異なる全市でできるイベントはないかなど、そろそろ南島原市としてのイベントを考える時期に来ているのではないかと思います。各町でやっているイベントも曲がり角にきているのも現実です。

市の花であるひまわりを原城に植えてあるのを聞いて見に行きました。それぞれの団体等で植えたひまわりを点から線としてつなぐことも市としては必要だと感じました。それと、後の管理の問題です。植えるときや花が咲いたときはみんな一生懸命になりますが、その後、このまま放置したままでは見た目も汚いので何とかしなければいけない。

市もひまわりの植栽を奨励していますので、植える方も難しい点もあるので、団体が連携を取って取り組むべきだと思います。

( 企画振興部長 )

最初の「ブランドづくり」について意見をいただきたいと思います。

( 寄手見遊会 )

各町でイベントを開催されているが、南島原市として県内外からお客さんをお呼べる一

大イベントをやる体制づくりが必要ではないのか。そのためにも今日集まったメンバーを交えて協議してはどうだろうか。

(寄手見遊会)

私たちは地域おこしをやってきた団体であり、全ての団体が一緒になりやればよいが、規模が大きくなればよいのか。人が集まれば成功というものではないと思う。ここに集まった団体が協力しあうことでよいのではないか。

(みそ五郎倶楽部)

「みそ五郎まつり」と「みそ五郎ブランド」は別です。みそ五郎まつりを市のまつりにするというではありません。たまたま、みそ五郎を例に挙げただけで、市にステイタスとなるブランドが必要ではないかと思います。

(市長)

実は市の象徴的なまつりやイベントができないかと考えています。原城マラソンを現在やっていますが、距離を延ばした全市をあげた2万人規模のイベントにならないか検討しています。

(夢みこし担ぎ隊)

南島原市には全国的に有名な原城がありますので、それをシンボル等にしてはどうでしょうか。

次の「市地域づくり連絡協議会(仮称)」は必要ではないかと思います。相互に協力し合うことは、何か得るものがあるし、そこから新たなものが芽生えてくることも考えられます。

3番目のひまわりの植栽については、去年は、加津佐の広域農道沿いに南笑会で3町程度植えました。植え方が悪かったことや天候に恵まれず、ぱらぱらしか花が咲きませんでした。花が咲いた後の管理については、緑肥として畑に帰すことにしています。

私は、ひまわりロードとして市内一円つなげればよいと思います。

(みそ五郎倶楽部)

私たちの会の中で、ひまわりの種から油を絞って、それをそうめんの油に使えないのかという意見が出ました。一過性ではなく、有機的につながる施策が必要ではないでしょうか。さらに行政からバックアップしていただければ定着するのではないのでしょうか。

(歓皆の会)

油を取るひまわりの花は汚いので、観賞には向きません。ひまわりは1年中花を咲かせることができますので、観賞用の花と油を取るひまわりとの場所を決めて植えればよいと思います。



(ふつ皆C L E 倶楽部)

例えば、夜なべ談義をずとしたときに、公共施設は午後 10 時までしか使用できないなどの制限があります。また、ボランティア活動をやるにしても、「こうしてください」と指示するだけでなく、行政側も一緒に参加してやるといった、市民の動きに対して行政が変わらなければ、市民との協働は進まないのではないのでしょうか。

また、このような機会を設けたとの実績づくりだけではなくて、今後我々が主体的にこのような会を開催するようなときでも、行政が柔軟に対応していただきたい。

(企画振興部長)

予定の時間を終了しましたので、これで終了したいと思います。

(市長) 閉会挨拶

活発なご意見をいただきありがとうございました。

何かが始まるかなという思いがしております。また、そうしなければならないと思います。

皆さんの地域の活性化についての取り組み、まちづくりに対しての熱い思いが伝わってきました。いろんな所でいろんな活動がされております。皆さんもそれぞれの団体の活動をお聞きして、自分の団体の参考になったのではないかと考えています。

お互いに手を取り合いながら、協働しながら、協力しながらやっていけたら素晴らしい南島原市になると思います。今後もこのような機会を設けて、皆さんからのご意見をいただき市政に反映していければと考えています。

本日は長い時間ありがとうございました。

「市長と語る市民協働のまちづくり懇談会」出席者名簿

	氏 名	所属団体	住 所	備 考
1	中 村 議 市	かな かい 歓皆の会	南有馬町	
2	内 山 哲 利	かな かい 歓皆の会	南有馬町	
3	山 口 忠 宗	よってみゆうかい 寄手見遊会	有家町	
4	水 江 敬一郎	よってみゆうかい 寄手見遊会	有家町	
5	長 尾 泰 博	セナリヨの里から Merry X mas in 北 有馬実行委員会	北有馬町	
6	溝 田 光 洋	セナリヨの里から Merry X mas in 北 有馬実行委員会	北有馬町	
7	吉 田 嘉 明	ありえ蔵のまち保存会	有家町	
8	八 木 英 介	ありえ蔵のまち保存会	有家町	
9	隈 部 和 久	ふつみなく るくらぶ ふつ皆C L E 倶楽部	布津町	
10	島 崎 兼 一	ふつみなく るくらぶ ふつ皆C L E 倶楽部	布津町	
11	酒 井 洋 一	夢みこし担ぎ隊	加津佐町	
12	松 本 昭 仁	夢みこし担ぎ隊	加津佐町	
13	本 多 祥 彦	みそ五郎倶楽部	西有家町	
14	安 達 康 徳	みそ五郎倶楽部	西有家町	